

◆ 目的
教員を目指す障害のある大学生及び大学院生（以下、学生という。）をつなぐ全国的なネットワークを構築し、定期的にオンラインで交流をしたり、先輩教員やチューターに質問や悩みの相談をしたりすることができる等の仕組みをつくりあげることにより、障害のある学生を支援する。



オンラインによる交流等

チューターが Google Workspace for Educationを活用して、登録した学生に対して、交流の場の設定や相談などの活動を行う。

◆ ならネットの運営について
奈良県立教育研究所 次世代型教職員支援センター 次世代型研修開発係が担当。
学校教育担当（経験豊富な奈良県内公立学校等の退職校長）の2名がチューターとして支援を行う。

学生同士・現職教員との交流

現職教職員との交流

障害のある教員（障害者特別選考で採用された者等）との交流会を行う。

インターンシップ・教育実習の受入れ

インターンシップ、教育実習希望者を受け入れる。

障害のある学生の教職への夢を実現するネットワークの設立

◎ 障害のある学生が、教員として働く上での課題を把握し、実効性のある支援を行う。



具体的な活動の流れ

奈良県教員採用候補者選考試験では・・・

受験をする前年の8月末日までに登録の上、ワークショップやチューターとの面談等を通して、教員としての資質の向上に努める。

取組の状況により

選考試験
一部免除

登録

はじめに

教員を目指して

ネットワーク登録アンケートの実施
アカウント付与

登録者一人一人と必要な支援について詳細な打合せ

- 登録者ごとにClassroomで個別の相談・支援
- 登録者全員のClassroomで登録者同士(随時)及び奈良県の先輩教員との交流(9月頃)の実施
- 教育に関する情報提供
- インターンシップ、教育実習の受入れ・調整

教員採用試験を受験する前年の9月～
【教員としての資質向上】
ワークショップ・面談の実施